

# 鳥取北ロータリークラブ

## 2021 2022



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

SERVE TO CHANGE LIVES

国際ロータリーのテーマ

● 会長……松本 啓介 ● 副会長……千金 周一 ● 幹事……水野 治郎  
● 会計……米田由起枝 ● SAA……福田 収 ● 活動記録担当リーダー……田中英剛



例会場: ホテルモナーク鳥取 例会日: 火曜日12:30~13:30

Tel.24-3536 Fax.29-6741

■ 創立: 昭和36年2月23日 ■ 事務所: 鳥取市扇町22-1 山陰合同銀行鳥取駅南ビル

E-mail kitarc@infosakyu.ne.jp http://www.infosakyu.ne.jp/kitarc/

2021年10月19日(火)

第2920回

今週の例会

- ◆ ロータリーソング
- ◆ 卓話
- 鳥取北RCの歌
- 第1グループガバナー補佐
- ◆ 献立
- 谷口宗弘氏
- 米山ミール(洋)
- ※ 10:30~クラブ協議会「大山の間」

2021年10月26日(火)

第2921回

次週の例会

- ◆ ロータリーソング
- ◆ 委員会事項
- それこそロータリー
- 入会記念日御祝
- ◆ 献立
- ◆ 卓話
- カレー
- 地区大会の報告

## 先週の例会

2021年10月12日(火)

### 会長挨拶

皆さん、こんにちは。日曜日の砂丘一斉清掃に参加の皆様ご苦勞様でした。先週、ノーベル物理学賞に真鍋淑郎さんが温暖化予測の気候モデルの基礎を築いたことで受賞されました。これを聞いて、今年4月の合同IMで京都大学防災研究所の森信人先生の気候変動に関する記念講演は、先見の明と言いますか、本当に良かったと思えました。

今日は、動物愛護について話してみます。9月20日から26日が動物愛護週間でした。動物を愛し、動物と人間の絆を強めること、適正な飼育を知るために定められたものです。私たち夫婦がモコを家族として大切にしていることは何度も話していますが、会員の小林さんはトイプードルを飼って15年、この間、毎日、朝と夜、雨が降っても雪が降っても宴会やマージャンで遅くなっても、必ず、トイレのために散歩させている

と聞いて愛情の深さを知りました。塚田さん玉木さんも犬を大切に飼っています。しかし、世間では、残念なことです。動物を傷つけ、虐待する例も見られます。先日も鳥取市内で散歩中の犬が何か物を食べて死亡した記事が出ていました。仮に動物を殺すつもりで故意に毒のある物を置けば、刑法の器物損壊で3年以下の懲役または30万円以下の罰金です。それ以外に動物愛護に関する法律があって、動物を殺し、または傷つけた者は、5年以下の懲役または500万円以下の罰金で刑法よりも重いです。犬と触れ合うことで、人にも犬にもオキシトシンというホルモンが分泌されて幸せな気分になる、ストレスが緩和する、不安が解消すると言われています。入江容子さんは、犬は怖くて苦手ですということですが、是非、モコと触れ合ってもらい、「かわいいですね、怖くないですね、優しいですね」と思ってもらえるようにしたいものだと考えています。

### 幹事報告

1. 到着文書
  - 1) 岩崎ガバナー事務所より
    - ・地区大会資料、ヘルスチェックシート、名札等
    - ・佐賀長崎義援金合計 2,385,129円
  - 2) 米山記念奨学会より
    - ・2020年度事業報告、決算報告、寄付金マニュアル
  - 3) 岡山西RCより、創立60周年記念誌
2. 例会変更・メーキャップ情報
  - ・米子中央RC 10/28(木)夜間例会、12/2(木)夜間例会 ビジター受付、定刻定例会場
  - ・米子東RC 12/8(水)クリスマス例会 ビジター受付 定刻定例会場
3. その他連絡事項
  - ・次週10/19は谷口ガバナー補佐をお迎えしてクラブ協議会です。10:30から時間厳守で、クラブ計画書を必ず持参
  - ・10/24(日)は地区大会です。参加者には注意事項などを次週配布。
  - ・地区大会に夕食弁当が出ます。

・11/16(火)は、日中は里山整備事業です。夜は18時からオータニにて夜間例会です。お間違えのないように。

### 委員会事項

- ◎出席率報告
  - 10月12日 会員44名中 欠席17名 61.36%
  - 9月28日 補正後 欠席8名 81.82%
- ◎地域奉仕委員会(社会・環境奉仕担当)塚田 隆さん
 

10月10日(日)、山陰海岸ジオパーク一斉清掃が開催されました。当クラブから7名参加しました。当日は天候にも恵まれ快適な催しでした。毎年のことですが、ゴミが少なくウォーキングを楽しむことができました。
- ◎ゴルフ同好会 千金周一さん
 

10月22日(金)地区大会に伴うゴルフ大会が行われます。当クラブのゴルフコンペは、11月23日(祝)に行います。詳細は改めてファックスします。
- ◎グルメ同好会 入江容子さん
 

グルメ同好会を行います。ご参加をお待ちしています。会場等は、人数が決まってから探して決めたいと思います。

\*スマイル報告 (本日 11,000 円 累計 156,000 円)  
松本啓介さん 日曜日に行われた砂丘一斉清掃に参加された皆様、お疲れ様でした。晴天で暑く、風の強い中で長老の小林さんが一番元気でした。見習いたいものです。

千金周一さん 本日のクラブフォーラムは勤労学生表彰についてです。宜しくお願いします。

水野治郎さん 弊社関連の社会福祉法人との取引内容に関し税務調査が入っています。対価が不明確なものがあるとの事。重箱の隅を穿る彼等に正論で答える私。他にやる事が無い?と思わず口から出そうになります。

小林弘尚さん 今月末、60 数年続けた現役生活に終止符を打ちます。その間、出会った多くの人々に感謝。加えて健康に恵まれたお陰です。今後は少しのんびりと健康寿命を長く保ち、好奇心旺盛に生きたいものです。

霜村哲男さん ノーベル賞の真鍋博士は気候変動でした。我がクラブの IM の講演も道上さんの発案で気候変動でした。そう言えば、お二人の出身は愛媛県です。

玉木裕一さん 先日砂丘一斉清掃に参加してきました。気持ちの良い汗を流せました。個人的な感想ですが、小林会員の足腰の強さに感嘆しました。目標にさせて頂きます。

塚田 隆さん 山陰海岸一斉清掃に参加の皆様、ご苦労様でした。

山根京子さん 山陰ジオパーク参加の皆様、お疲れ様でした。時間を間違えてご迷惑をお掛けしました。関東が地震で子供の心配をしましたが、すぐに電車が動きホッとしました。

\* 2 大御祝 (本日 0 円 累計 32,000 円)

### クラブフォーラム「勤労学生表彰について」

フォーラム開催の趣旨について 千金副会長

勤労学生表彰は、今年、55 回目を迎える継続事業です。50 年以上経ったということは、相応の環境変化があったということです。ここで一度事業の在り方について考えてみようというのがフォーラムの趣旨です。現状にマッチした形で継続していくにはどうしたらよいか、一緒に考えていきたいと思っています。

### 緑風高校訪問の報告 水野幹事

9 月 30 日 10 時から約 40 分間、緑風高校を訪問し椿浩司教頭とクラブ代表者(松本会長、水野幹事、田村文男担当リーダー)で協議を行いました。

1. 学校の実態
2. 生徒の属性や特徴
3. スクールカウンセラー等の支援体制
4. アルバイトの推奨
5. 指導方法の工夫
6. 本クラブの表彰者の選考の考え方
7. 勤労学生表彰の周知方法
8. 経済的支援について

本事業がスタートした当初と今とは、取り巻く環境が大きく変わっています。この度の訪問は高校の実態を知るための良い機会になりました。椿教頭の話や、昼間働き夜学という形でない生徒さんも多いなど、色々な面で変化があったことがわかりました。そういう意味で、表彰制度が今のままでいいのか、一度立ち止まって考える必要があるという印象を受けました。椿教頭は、表彰制度は生徒や高校にとって励みになる大変有り難い制度だとおっしゃっていましたが、表彰状の文言も含め実態にあった制度にしていく検討が必要かと感じました。

### 課題提起

松本会長

1. クラブフォーラムをしようとした趣旨  
前例に従い勤労学生表彰を続けてきましたが、形骸化しているのではないかとの思いから、あらためてこの表彰について、何のために、どういう表彰にすべきか、会員間で協議するのが良いとの思いからフォーラム開催に至りました。
2. 現在の緑風高校の実態を理解していたかどうか  
緑風高校の実態を理解するために、水野幹事から報告があったように高校との話し合いの場を持ちました。私たちの知らなかったことも多々ありました。今後、学校をより理解するための方法として、例えば緑風高校の先生を招いて卓話をしていただくなど、活動を工夫していきたいと思っています。
3. 対象者の範囲をどうするか  
表彰者の範囲を勤労学生に限定しないで、勤労してはいるが、学校側で表彰してもらいたいと考える生徒を選考してもらうことの是非について考えて頂きたい。
4. 表彰状の文言  
今日の実態に合った文言を検討していきたいと考えています。
5. 経済的支援をすることの是非と支援する場合の金額  
現在は表彰状と記念品(時計など)を授与しています。さらに進んだ経済的支援をすることの是非についても考えて頂きたいと思っています。

### 会員からの意見・提言

田中英剛さん

2 年前に青少年奉仕担当リーダーをさせてもらいましたが、入会 2 年目のことでした。高校の先生と交流を持って、意見交換しながら進めるのがよいと思っていたのですが、当時は十分な意見交換にまでは至りませんでした。

事業をマニュアルに従って進め、表彰される方とは表彰式の時だけお会いするということが多かったかと思っています。そうでなくて継続的に交流したうえで表彰するというのが良いと思います。会長提案の方法で認知度をあげるのには良い方法だと思います。

生徒さんが色々な形で頑張っているということを知っています。そういう生徒さんを激励するという意味で、会長が言われた経済的支援も一方法ではないかと感じています。

### まとめ

千金副会長

私たちが知らない高校の変化があることがわかりました。例えば、勤労しながら学ぶ生徒さんばかりではないという実態です。今日のフォーラムを最初のステップとして、表彰制度がより実態を踏まえた制度として磨かれていくと良いと思います。



(担当 秦野諭示)